

□全国学力・学習状況調査結果 —第1部 学力について—

8月半ばに、本年度の全国学力・学習状況調査（全国学調）の結果が送付されてきました。本校3年生の学力と学習状況の両面から、その概要をお伝えいたします。

1. 全国学力・学習状況調査（全国学調）とは

- 文部科学省によって平成19年度から実施されている全国的な学力等の調査です。
- 対象は小学校6年生と中学校3年生で、毎年4月中旬に実施されます。
- 本年度の中学3年生を対象として調査では、国語、数学、理科の3教科で、国語と数学は、それぞれで知識・技能の定着を見る「A問題」、知識・技能の活用能力を見る「B問題」に分かれます。したがって本年度は3教科5種類（国語A・国語B・数学A・数学B・理科）での実施となりました。
- 本調査は、特定教科において筆記により実施されるものであることから、調査結果はあくまでも学力の一部と定義されています。
- 本調査では、3教科5種類の学力調査と同時に、「生徒質問紙」による学習状況調査も実施されています。

2. 本校生徒の学力について

(1) 概要

国語A・B、数学A・B、理科の3教科5種類において、本校の平均正答率は、全国平均とほぼ同程度で、5種類の中では数学Aが他よりも得意であるという結果でした。

このことから、本年度の本校3年生は、実施した3教科（国語・数学・理科）において、知識・技能およびその活用能力は概ね定着しており、とりわけ数学の知識・技能面は十分に定着していると分析しています。

(2) 各教科

国語A・・・知識・技能の定着を見る問題

この問題で評価される②「話す・聞く能力」③「書く能力」・④「読む能力」・⑤「言語について能力を調査しています。④「読む能力」については、やや苦手としている傾向がありますが、⑤「言語についての知識・理解・技能」については、概ね満足できる能力が身に付いています。

このことから、国語における知識・技能は、一部やや不得手な能力はあるものの、概ね定着しているといえます。

国語B・・・知識・技能の活用能力を見る問題

この問題で評価される①「国語への関心・意欲・態度」・③「書く能力」・④「読む能力」・⑤「言語についての知識・理解・技能」については、概ね満足できる能力が身に付いています。なかでも、③「書く能力」・⑤「言語についての知識・理解・技能」は得意としています。②「話す・聞く能力」については、やや苦手としている傾向があります。

このことから、国語における知識・技能を活用する能力は、一部不得手なところはあるものの、概ね定着しているといえます。

数学A・・・知識・技能の定着を見る問題

この問題で評価される③「数学的な技能」・④「数量や図形などについての知識・理解」について、どちらも満足できる能力が身に付いています。なかでも③「数学的な技能」は、全国的にみても十分満足できる能力が身に付いています。
このことから、数学における知識・技能は、十分定着しているといえます。

数学B・・・知識・技能の活用力を見る問題

この問題で評価される③「数学的な技能」はやや苦手としているものの、④「数量や図形などについての知識・理解」については、概ね満足できる能力が身に付いており、数学における知識・技能を活用する能力は、概ね定着しているといえます。

理科・・・知識・技能の定着と活用力を見る問題

この問題では、①「自然事象への関心・意欲・態度」・②「科学的な思考・表現」・③「観察・実験の技能」・④「自然事象についての知識・理解」の能力を調査していますが、③「観察・実験の技能」・④「自然事象についての知識・理解」についてはやや苦手としている傾向があるようです。

このことから、理科においては一部不得手なところはあるものの、概ね知識・技能を有し、それらを活用する能力が定着しているといえます。

□全国学力・学習状況調査結果 —第2部 生徒質問紙から—

生徒質問紙は全59の質問がされました。以下、主な結果を抜粋します。

なお、表の数値は、各質問に対し本校と全国の3年生で肯定的な回答（「あてはまる」・「どちらかといえばあてはまる」の合計）をした生徒の割合（%）とその差異を◎○―▲の4段階で示しています（「家庭学習の時間・読書の時間」は差異を表示していません）。

No	自尊感情・キャリア発達・道徳心・国際理解・生活習慣	本校	全国	差異
1	自分には、よいところがあると思いますか	86.0	78.8	○
2	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	90.8	82.2	○
3	将来の夢や目標を持っていますか	73.1	72.4	—
4	学校の規則を守っていますか	97.4	95.1	—
5	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.2	95.5	—
6	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.2	94.9	—
7	朝食を毎日食べていますか	93.6	91.9	—
8	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	80.1	74.2	○
9	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.4	90.3	—
18	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	76.3	76.0	—

【考察】

(1)(2)に関しては、全国平均より良い結果となりました。昨年の結果よりもさらに数値が上がり、全国平均との差も大きくなっています。自分を肯定的に受け止め、自己の良い点を教師にも認められていると感じる生徒の多いことが分かります。また(4)～(6)からは、規範意識や人権感覚、人としての優しさも備わっていることが分かります。

生活面に関しては、毎日朝食を食べている生徒が多く、規則正しく睡眠をとっていることがうかがえます。また、4人に3人の生徒が学校の出来事を家の人と話をしていることがわかります。

No	家庭学習	本校	全国	差異
10	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	57.5	52.1	○
11	家で、学校の宿題をしていますか	98.4	91.6	○
12	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	67.7	55.2	◎
13	家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習で、教科書を使って学習していますか	70.9	71.3	—
No	家庭学習の時間・読書の時間	時間	本校	全国
14	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）	3時間以上	6.5	10.5
		2～3時間	29.6	25.9
		1～2時間	40.3	34.2
		1時間未満	23.7	29.4
15	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	1時間以上	13.4	14.8
		0.5～1時間	9.7	16.1
		10分～0.5時間	18.8	22.6
		10分未満	58.1	46.5

【考察】

家庭学習については、授業の予習・復習を行っている生徒が多く、宿題はほぼ全ての生徒が真面目に行っているようです。なお、学習時間については、全体の4割程度が1～2時間程度学習しており、全国と比較しても1～3時間程度家庭学習している人が多いことがわかります。

また、読書時間に関しては、30分以上をしている生徒が少なく、6割弱の生徒が10分未満であることがわかります。朝学活前に「朝の読書」を実施していますが、もっと本に触れてほしいと思います。

No	地域との関わり	本校	全国	差異
19	1, 2年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	85.0	68.7	◎
20	今住んでいる地域の行事に参加していますか	56.4	45.6	◎
21	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	57.0	59.3	▲
22	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	33.8	38.7	▲
23	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	56.5	51.8	○
24	地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	26.3	25.5	—
26	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）	83.4	86.6	▲

【考察】

ここ数年、地域との連携を深めた教育活動（コミュニティスクール）を実践し、地域理解・地域体験・地域貢献を進めています。(19)(20)はその成果ととらえています（昨年度結果よりさらに数値上昇）。

しかし、(21)(22)(26)から今後は主体的に行動できるように学習を発展させる必要を感じます。

No	数学の授業について	本校	全国	差異
27	数学の勉強は好きですか	46.7	53.9	▲
28	数学の勉強は大切だと思いますか	89.8	83.6	○
29	数学の授業の内容はよく分かりますか	73.6	71.0	—
30	数学ができるようになりたいと思いますか	96.8	92.5	—
31	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	76.3	70.3	○
32	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	45.7	38.7	○
33	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	81.7	72.9	○

34	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	66.7	69.2	—
35	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	75.8	70.4	○
36	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	88.8	80.6	○

【考察】

全体的に、学習に真面目に取り組み、積極的に授業に参加している生徒の姿がうかがえます。

数学の学習に苦手意識はあるものの、大切な教科で、学習したことが将来役に立つと感じ、理解できるようにになりたいという意欲が高い生徒が大多数であることがうかがえます。

また、問題を解く際にも諦めず、普段の生活との関わりや、硬式や決まりを暗記するだけでなくその根拠を考え、ノートの工夫をしたりしている点で、全国平均を上回っています。

No	理科の授業について	本校	全国	差異
38	理科の勉強は好きですか	72.1	62.9	◎
39	理科の勉強は大切だと思いますか	75.8	70.6	○
40	理科の授業の内容はよく分かりますか	76.9	70.0	○
41	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	78.5	77.6	—
42	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	47.9	45.4	—
43	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	65.0	55.7	◎
44	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	25.8	22.2	—
45	理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか	51.1	41.4	◎
47	観察や実験を行うことは好きですか	90.9	82.1	○
48	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	67.2	58.5	○
49	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	77.4	72.3	○
50	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	59.2	59.0	—

【考察】

こちらも、全体的に、理科の学習が将来、社会に出たときに役に立つことを感じ、学習に真面目に取り組み、積極的に授業に参加している生徒の姿がうかがえます。

やはり授業で実験や観察を行うことには生徒には好印象のようです。また、全国平均と比べても、授業で自分の考えや考察をまわりの人に説明したり、観察・実験の際に、自分の予想をもとに計画を立て、結果をもとに考察したりする学習方法が身につけているようです。

No	授業に対する意欲・態度	本校	全国	差異
52	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	83.3	73.8	◎
53	自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	60.8	53.8	○
54	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	84.9	76.3	○

【考察】

(52)から、生徒が問題意識を持ち自分事として主体的に考える「主体的な学び」が育ってきたことを感じ、嬉しく思います。また、(53)からコミュニケーション能力の向上を図ろうとする姿や、(54)から他者と話し合いや議論をすることで学び合いを広げる「対話的な深い学び」が全国平均より高く、生徒が意識して取り組んでいる様子が感じられます。

この「主体的・対話的で深い学び」は、新学習指導要領において、授業改善の視点としてのキーワードとなっており、本校の教職員研修でも取り組んでいるところです。今後も、上記の結果に甘えることなく、質の高い授業や行き届いた指導をめざし、教員研修を進めていきます。